

# 太陽と、風と、大地のエネルギーで 暮らしが、世界が変わる!

## FREE ENERGY FOR EVERYONE! 第4の革命

エネルギー・デモクラシー  
THE 4TH REVOLUTION  
ENERGY AUTONOMY

世界中で起こる「エネルギー革命」とは?  
ドイツを変えたドキュメンタリー映画

100%再生可能エネルギーへの「エネルギーシフト」は実現できる!  
世界のキーパーソンが希望ある未来ビジョンを語る。



2010年  
ドイツステナビリティアワード  
推薦

2010年  
バンクーバー国際映画祭  
オフィシャルセレクション

2010年  
ドイツカメラアワード  
推薦

2010年  
USAワインカントリー映画祭  
ベストエコノミー賞受賞

監督: カール・A・フェヒナー 出演: ヘルマン・シェア/ムハマド・ユヌス/イーロン・マスク他  
製作国: ドイツ/デンマーク/ノルウェー/フランス/スペイン/マリ/バングラデシュ/アメリカ/ブラジル/中国  
製作年: 2010年 時間: 83分 製作: フェヒナーメディア 配給・宣伝: ユナイテッドピープル  
協力: 東京ドイツ文化センター, greenz.jp, ビースポート, 脱原発世界会議, 国際環境 NGO FoE Japan, WWF ジャパン, SOLAR journal  
Partner: 株式会社 EN Globe, 太陽光発電一括見積りナビゲーション「タイナビ」, NPO 法人セブン・ジェネレーションズ, スマートグリッドホーム株式会社  
WEB: <http://www.4revo.org/> twitter: @4thre

Special Partner

Q.CELLS



FREE ENERGY FOR EVERYONE!

# 第4の革命

エネルギー・デモクラシー  
**THE 4TH REVOLUTION**  
ENERGY AUTONOMY

「100%再生可能エネルギーへのシフトが可能で必要だとい  
うことを理解すれば、人々は自ずとこれを推進するだろう」

— ヘルマン・シェーア

未来はいつも可能性を信じた者によって創られる。それに対する批判の言葉もまた同じだ。「不可能だ、現実的でない」。その批判者はいつも利益を失いたくない既得権者だ。ドイツが何をどう変えてきたのか、ヘルマン・シェーアの言葉に耳を傾けてほしい。

— 田中 優 未来バンク代表、天然住宅共同代表

爆発的な風力発電導入を実現したドイツの1990年の電力買い取り法、そして2000年にドイツで制定され、その後太陽光発電の導入の起爆剤となった「再生可能エネルギー法」。これら2つの法律を制定させた中心人物こそ「第4の革命 — エネルギー・デモクラシー」のナビゲーターである、ヘルマン・

シェーア氏である。この映画はシェーア氏の提案により4年がかりで完成。2010年、ドイツで最も観られ、その後のドイツのエネルギー政策に影響を与えたドキュメンタリー映画である。この映画では、著名な環境活動家やノーベル賞受賞者ムハマド・ユヌス氏、起業家イーロン・マスク氏や政治家らによって、

エネルギーというのは専門家に任せるのではなく、自分たちの手に取り戻し、自分ごととして取り組むべきものだと思う。

自分の趣味や個性を活かしてエネルギーを考え多くの個人が「マイプロジェクト」を始めてこそエネルギー革命は実現できる。

— 鈴木菜央 greenz.jp 発行人、株式会社ビオピオ CEO

これから30年以内に100%再生可能エネルギーへのエネルギーシフトが可能だということを、様々な角度から分析し、紹介する。この映画は、再生可能エネルギーへの認識を高め、新しいエネルギー時代への夜明けへと人々を導くだろう。「新しいエネルギー時代」へようこそ!



出演：ヘルマン・シェーア  
Hermann Scheer (ドイツ) ほか

ドイツ連邦議会議員(社会民主党)であり、ヨーロッパ太陽エネルギー協会(EUROSOLAR)会長。ドイツ国内で太陽光発電を小規模単位で実現させ、電力会社へ再生可能エネルギーの定額買取りの義務付けを法案化するなど、ドイツを再生可能エネルギーの世界的リーダーへと導いたキーパーソン。もう一つのノーベル賞として知られるライト・ライブリッド賞を受賞。2010年死去。Solare Weltwirtschaft(邦訳「ソーラー地球経済」、岩波書店、2001年)など著書多数。



監督：カール-A・フェヒナー  
Carl-A. Fehner (ドイツ)

ジャーナリスト、監督、プロデューサー。1989年よりフェヒナー・メディア社 CEO。16歳頃から映像制作を学ぶ。22歳頃にはサハラ砂漠を車で縦断する旅に出る。大学ではメディア学を学ぶ。フリーランス時代はARDの海外特派員として戦争報道。湾岸戦争の取材等を行う。1983年、長女誕生を機にフリーランサー及び平和活動家として数々のデモに参加。中距離核弾頭ミサイル配備や核廃棄物輸送反対デモに参加し、拘束された経験もある。1991年より方針転換。戦争報道等、悲惨な状況を伝えるより、解決方法を提示したいと、1991年より持続可能性(サステナビリティ)をテーマにTV番組やドキュメンタリー映画を制作。2010年、4年の歳月をかけて製作したドキュメンタリー「第4の革命」は、ドイツで13万人を動員。2010年ドイツで最も観られたドキュメンタリーとなる。

配給・宣伝 ユナイテッドピープル film@unitedpeople.jp 「第4の革命」自主上映者は随時募集しています。092-407-9799